

リスクが多様化する

これからの時代の不祥事予防法！

コンプライアンスリスクに対する リテラシーの高い 組織をつくる

コンプライアンス リスクに対する リテラシーの高い 組織をつくる

改訂版

大久保 和孝

株式会社大久保アシエイツ 代表取締役社長
公認会計士・公認不正検査士

激動の時代を生き抜くための
唯一の不祥事予防法

第一法規

リテラシーの高い 組織をつくる

激動の時代を生き抜くための 唯一の不祥事予防法

改訂版

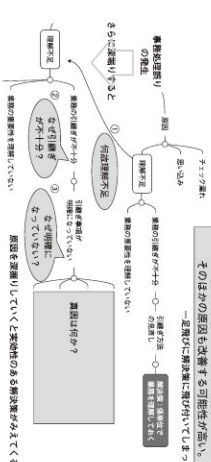
著者の現場コンサルティングの経験を踏まえた解説！

大久保 和孝 著

四六判 / 222頁 定価：2,860円 (本体2,600円 + 税10%)

「リスクマップ」を使用したリスクコミュニケーション法を 全面的にブラッシュアップした改訂版！

より研修プログラムに実践的に活かせる内容に。



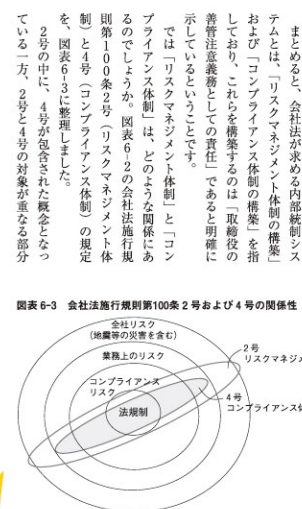
図表 6-3 会社法施行規則第100条2号および4号の関係性

ある解決策を導き出すことができるようになることがポイント。
※次ページの図表9-7を参考に議論を展開してみてください。最初の原因で立ち止まって解決策を考えると3世代の原因への対応策では、施策が大きくなるのがわかります。徹底した議論を通して、実効性のある解決策を導き出しましょう。
【STEP4】原因に対して三回の「なぜ」を繰り返すことで真因を突き止め、それに対する対応策を図表9-6の参考例などの形でリスク対応計画に落とし込む。なお、解決策については、この段階で初めて言語化して書き出す。大切なことは、「根本原因」と「解決策」が表裏一体となるように、「解決策」を示すことである。
【STEP5】各グループでの対話が終了したら、全体での対話を行う。全体の対話では、グループ間での当該リスクの「根本原因」を中心に発表し、質疑応答を行う。ファシリテーターは、参加者が自分分化して考えられるよう、質問者を指名するなどの工夫をして活発な議論を引き出すことが重要である。その際、良い質問を促すために、質問者は論理的な矛盾がないか、原因のさらなる深掘りがなされているかを意識しながら質疑を行う。全

もありません。両者は、いずれも会社が直面する経営リスクを指しますが、4号は特定のリスク（法令および定款に関するリスク）を対象としています。
しかし、同じ会社の経営リスクを対象としている以上、内部統制システムは、2号、4号のいずれも同じ手法を利用すべきだと考えます。あくまでも、対象範囲が異なるだけなので、とくに、昨今のように環境変化が激しい社会では、リスクマネジメントの対象とするリスクとコンプライアンスリスクは表裏一体で取り組む必要性が高くなっていきます。それゆえにリスクマネジメント部門とコンプライアンス部門が歩調を合わせて取り組むことが、効果的かつ効率的なものです。

ント体制を構築する責任も負わされているのです。
まともだと、会社法が求める内部統制システムとは、「リスクマネジメント体制の構築」および「コンプライアンス体制の構築」を指しており、これらを構築するのは「取締役の善悪注意義務としての責任」であるという趣旨に示しているということです。
では「リスクマネジメント体制」と「コンプライアンス体制」は、どのような関係にあるのでしょうか。図表6-3の会社法施行規則第100条2号（リスクマネジメント体制）と4号（コンプライアンス体制）の規定を、図表6-3に整理しました。
2号の中に、4号が含まれた概念となっている一方、2号と4号の対象が重なる部分

図表 6-3 会社法施行規則第100条2号および4号の関係性



コンプライアンス体制の機能や研修を、効果的なものとするための実践的手法を得る！



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
https://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目次

第1部 理論編

- 第1章 コンプライアンス推進はリーダーの言動がカギを握る
- 第2章 不祥事とその要因
- 第3章 「法令遵守」から「コンプライアンス」へ
- 第4章 コンプライアンスリスクに対するリテラシーの高い組織をつくるには
- 第5章 持続的成長に向けて

第2部 実践編

- 第6章 内部統制とは
- 第7章 リスクマネジメントとは
- 第8章 リスクに対するリテラシーを向上させるための具体的な施策
- 第9章 「リスクコミュニケーション」を組織に根づかせるために

具体的な研修の進め方、施策立案のポイントを自社に落とし込める形で知ることができる!

ながら言葉の一つひとつを咀嚼していくのがいいと思います。
なお、行動規範の浸透は、eラーニングで行うのは、ほぼ意味がありません。むしろeラーニングで行うのはもつてのほかです。eラーニングは、知識を一方的に伝達するしかできないからです。

効果的な研修計画の立案方法

研修計画の立案には、研修の目的と得られる効果を踏まえた視点をもつことです。効果的な研修を行うためには、集合研修は何かを「伝える」場とするのではなく、「伝わる」ためにどうすべきかを考えることです。研修によって、前記となる基本的な知識を習得してもらったことは不可欠ですが、知識を習得するだけでは集合研修以外の方法もたくさんありますし、知識があっても行動につながらなければ意味がありません。
集合研修は、忙しい業務時間を削いで、関係者が一堂に会する貴重な機会なので、この貴重な機会をどのように生かすかが重要になります。そのためには、必要な知識は事前に周知・会得しておいてもらったうえで、このような貴重な機会には、そこだけでできない「対話」を中心とした形式とし、自分事化を促せるような企画とすることが大切です。

ただし、対話が、単なる言いたいことを言っただけで満足して終わるといったことがないように注意が必要です。研修はしっかりと考える時間とし、例えば、リベラルアーツ的思考力を鍛錬できるようなプログラムを中心に組み立てるなど、リスクに対するリテラシーを向上させられる機会となるように工夫します。

体系的な研修計画を立案するために

研修に割ける時間には限りがあります。限られた時間を生かして効果的な研修を行うためには、綿密な研修計画の立案が不可欠です。そのために、

- ①何を(例…コンプライアンス概論/情報セキュリティ/行動規範)
- ②誰に(例…役員/管理職(部長・課長など)/一般社員/新入社員/中途社員/派遣社員など)
- ③どのタイミングで(例…半年に一回/年一回)
- ④どのくらいの時間をかけ(例…10時間 ※年間で研修に費やせる時間を算出)
- ⑤どのような方法で(例…集合研修/eラーニング)

詳細・試し読み・お申込みはコチラ
<クレジットカードでもお支払いいただけます>



Q 第一法規

検索

CLICK!



申込書 (第一法規刊)

コンプライアンスリスクに対するリテラシーの高い組織をつくる
～激動の時代を生き抜くための唯一の不祥事予防法～改訂版

申込部数

部

●定価2,860円(本体2,600円+税10%) [コード048108]

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円(税込)以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。
また、お買い上げ合計金額5,000円(税込)未満のご注文については、国内配送料550円(税込)にてお届けいたします。
*消費税は申込日時の適用税率に依ります。

◎上記のとおり申し込みます。代金については、次に示す方法にて支払います。

*現在、弊社とお取引のないお客様につきましては、代金引換にてお支払いをお願い申し上げます。

(いずれかを✓で選択ください。) 代金引換により支払います。 現品到着後請求書により支払います。

*代金引換手数料について 一回あたりのご購入金額 (商品の税込価格+送料)の合計が	1万円以下の場合、330円(税込) 3万円以下の場合、440円(税込) 10万円以下の場合、660円(税込)	*送料・代引手数料を含む合計金額は、商品のお届け時に配送業者に 現金でお支払いください。その際、クレジットカードはご利用いただけません。
---	--	---

年 月 日

〒 _____
ご住所

機関名

部署名

公用
 私有

フリガナ

ご氏名

TEL

E-mail

@

お客様の個人情報の
取扱いについて

お客様よりお預かりした個人情報は、納品や請求書等の発送・アフターサービス、弊社製品・サービスのご案内などの目的のために利用させていただきます。また、お客様の個人情報は、弊社ホームページに掲載のプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱います。なお、個人情報についての照会、修正・削除・利用停止を希望される場合、その他お問い合わせにつきましては、お問合せフォーム (https://www.daichihoki.com.jp/support/contact/contact.php) からフリーダイヤルにてご連絡ください。フリーダイヤル ☎TEL.0120-203-696 ☎FAX.0120-202-974

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
〒107-8560
東京都港区南青山2-11-17
第一法規株式会社
☎FAX.0120-302-640

書店印